

陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第29号（5. 10. 10） 済生会兵庫県病院の統合移転はやめ、病床を増やす施策を求める陳情
陳 情 の 要 旨	1. 北神地域の急性期病床を実質的に増やすために、済生会兵庫県病院の統合移転は止め、病床を増やす施策をとること。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市北区 時 房 子
送 付 委 員 会	福祉環境委員会

2023年10月10日

神戸市会議長
坊 やすなが 様

神戸市北区

時 房子

電話

済生会兵庫県病院の統合移転は止め、病床を増やす施策を求める陳情

【陳情趣旨】

国は、都道府県ごとに地域医療構想をつくり、特に高度急性期・急性期のベッドを削減させています。

兵庫県の地域医療構想では、神戸圏域は急性期病床過剰地域とされています。

しかし、北神地域でみれば高度急性期病床は72床、急性期病床は313床しかありません。

済生会兵庫県病院の高度急性期病床9床、急性期病床213床は貴重な病床で北神地域の中で大きな役割を担っています。その病床が、三田市民病院と統合して400床から450床の高度急性期・急性期病院になれば、もちろん三田市民病院ですから11万三田市民も利用すると考えれば、北神地域の急性期病床は実質減ってしまうこととなります。

私たちが、病院の統合・移転に反対するのは、北神地域の医療の実態からみれば、済生会病院の統合・移転はこの地域の医療の後退を招くからに他なりません。

検討委員会では、こういう北神地域の医療の実態は何ら考慮されたこともないし、話し合われたこともありませんでした。

また、医師確保が困難になると言われていますが、それは済生会病院に限ったことではありません。神戸市は、兵庫県の保健医療計画では医師多数区域となっており比較的医師確保はできているのです。

また、済生会病院は建て替えの資金がないと言われていますが、北区にあるJCHO神戸中央病院では病院施設の耐用年数は50年とはっきりいわれており、40年で建て替えなければならない理由は何らありません。

10月4日の決算特別委員会で花田局長は「老朽化の問題はあるが、このままいくとドクターの確保ができなくて診療科はどんどんと閉じていき、救急ができなくなり、いつ最後に病院が閉じるかわからない・・・」などと住民を不安に陥れるような発言をされています。北神地域の病院の実態からもう一度考え直し、この地域の急性期病床を実質的に増やす施策をとるようお願いいたします。

【陳情事項】

- 1、北神地域の急性期病床を実質的に増やすために、済生会兵庫県病院の統合移転は止め、病床を増やす施策をとること